

「施策」総括票

施策展開	3-(7)-キ	フロンティア型農林水産業の振興
施策	②アジアなど海外への展開の推進	
	249頁	
対応する 主な課題	<p>○農林水産業の新たな発展に向けては、他産業との融合、アジアなど海外への展開、環境との調和を基調としたフロンティア型農林水産業の振興を図っていくことが重要である。</p> <p>○県産農水産物の海外展開については、海外市場のニーズの把握、多様な販売ルート開拓、プロモーションの強化等が課題である。また、効率的な移輸出に対応した流通・加工拠点の形成、高い輸送コスト等への対応も課題となっている。</p>	
関係部等	農林水産部	

I 主な取組の推進状況(Plan・Do)

(単位:千円)

平成24年度				
主な取組		決算見込額	推進状況	活動概要
1	国内外の市場分析調査事業	1,000	順調	○県産農林水産物について海外への販路拡大を図るため、プロモーション活動(テストマーケティングの実施等)を3回行ったほか、香港等、海外における商談会を3回開催し、海外市場におけるプロモーション強化に取り組んだ。(3)
2	畜産物の海外市場の分析調査		順調	
3	沖縄県農林水産物海外販路拡大支援事業	34,688	順調	○県産アグーの流通経路を追跡するトレーサビリティシステムの開発を行い、500頭の個体管理を実施した。(4)
4	県産食肉ブランド国内外流通対策強化事業	71,928	順調	○養殖ハタ類の海外出荷技術を開発するため、水無しでの輸送試験を48回実施し、平均92%の生存率を得ることが出来た。(5)
5	養殖ハタ類の国際的産地形成推進事業	41,871	順調	

II 成果指標の達成状況(Do)

(1) 成果指標

1	成果指標名		基準値	現状値	H28目標値	改善幅	全国の現状
	沖縄県から輸出される農産物の輸出額		肉類15,508千円 果実・野菜31,376千円 (22年)	—	増加	肉類 - 千円 果実・野菜 - 千円	—
状況説明	現地でのフェアの開催等催事を中心にゴーヤーなどの野菜や果実のほか黒糖やもずく、豚肉が香港を中心に輸出されている。						
2	成果指標名		基準値	現状値	H28目標値	改善幅	全国の現状
	県産食肉の海外輸出量		0トン (22年)	2トン (24年)	6トン	2トン	—
状況説明	海外市場調査により、市場ニーズの把握、多様な販売ルート開拓、プロモーションの強化等の課題解決に向けた県産食肉需要開拓プログラムを策定した。今後、流通保管施設の有効活用により更なる県産食肉の輸出量の増加が見込める。						
3	成果指標名		基準値	現状値	H28目標値	改善幅	全国の現状
	県が支援したプレミアム加工品のうち国際的な認証等 を取得した件数		0件 (23年度)	2件 (24年度)	10件	2件	—
状況説明	国際的な認証等を2件取得しており、1つ目がモンドセレクションへ1件申請し「銀賞」受賞、2つ目がiTQi(優秀味覚賞)へ1件申請し「三ツ星」受賞するなど、順調に取組みが進んでいる。						

(2) 参考データ

参考データ名	沖縄県の現状			傾向	全国の現状
海外販路拡大に向けた商談会参加者数	10社 (24年)	—	—	—	—
畜産物の海外市場調査	1回 (22年)	1回 (23年)	2回 (24年)	↗	—
豚肉の輸出量	9,692kg (22年)	16,484kg (23年度)	20,322kg (24年)	↗	—
海面養殖業生産量(その他の魚類)	590トン (21年)	640トン (22年)	373トン (23年)	↘	13,000トン (23年)

Ⅲ 内部要因の分析(Check)

- ・一括交付金(ソフト交付金)を活用した沖縄県農林水産物海外販路拡大支援事業に関しては、交付金の交付決定時期が年度途中と遅かったため、夏に旬を迎える果実に関する取組がほとんど出来なかった。
- ・畜産物の海外市場調査の結果、市場ニーズを踏まえた県産食肉ブランドの確立に向け、国際化に対応しうる中長期的な海外展開を見据えた施策の充実・強化が求められる。
- ・養殖ハタ類の水無し輸送については、冬場は概ね90%~100%の生存率を維持したが、外気温の上昇に伴い夏場の生残率は80%~88%と低下する傾向にある。夏場の生存率の改善、年間を通しての生存率の安定化を図る必要がある。
- ・トレーサビリティ事業については、県産アグー豚の生産流通履歴情報の消費者への情報公開を目的とし、生産段階におけるシステムの基本構築など一定の成果を挙げているが、追跡システムを食肉加工場や量販店等の流通・消費段階まで構築する必要があることから、枝肉のロット単位等、実際の流通に合わせた体制の構築が必要である。

Ⅳ 外部環境の分析(Check)

- ・沖縄県農林水産物海外販路拡大支援事業は、台風襲来による影響を受け、販促・プロモーションを行う対象品目が限定されたり、実施時期を延期する等の対応を取ることになった。

Ⅴ 施策の推進戦略案(Action)

- ・沖縄県農林水産物海外販路拡大支援事業においては、夏に旬を迎える果実に関する取組の実現及び台風襲来等の時期をずらすため、年度内の早い時期から事業開始に取り組む。
- ・畜産物の海外市場調査を踏まえて策定された県産食肉需要開拓プログラムにおいて、県産食肉のブランド力向上に向けた継続的なプロモーションを実施するほか、関連事業を効果的に活用し、生産農家や輸出企業等の意識高揚や輸出ノウハウの熟度を高め、中長期的には、民間事業者が自立可能となるような海外展開に繋げる。
- ・養殖ハタ類の水無し輸送の生残率を安定させるため、夏場輸送について引き続きデータ集積を行い、箱内温度管理の方法について検討する。
- ・トレーサビリティ事業については、個々のアグー豚についての管理から、ロット管理(最小単位は生産農家)への展開を検討する。